

医療的ケア児等支援連絡会 報告
(令和2年3月～令和3年2月)

1 開催日 ※偶数月 第3火曜日 14:00～

日にち		内容
第1回	令和2年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・愛知県医療療育総合センター中央病院 三浦清邦先生による講話 ・意見交換

新型コロナウイルスの感染の関係で、4月、6月、8月、12月、2月は開催していません。

2 構成メンバー（参加者）

愛知県医療療育総合センター医師・看護師、訪問看護ステーション、特別支援学校、生活介護事業所、放課後等デイサービス、親の会、子ども政策課、医療的ケア児等コーディネーター

3 実施内容

(1) 愛知県医療療育総合センター中央病院 三浦清邦先生による講話

「重い障がいがある子の生活を支える」と題し、重症心身障がい児者・医療的ケア児者の愛知の実態、愛知の医療的ケアを考える会の活動、重症心身障がいと医療的ケアと小児在宅医療について、在宅重度肢体不自由・医療的ケア児者に対する本人・家族支援、ライフステージを通して地域で過ごす～医療的ケアが必要な子どもたちを地域で支える仕組み～についてお話をいただきました。

(2) 講話後の意見交換について

・愛知県や各自治体の実態調査を実施しており、愛知県の場合は、人工呼吸器の使用人数を把握し、災害時の支援を整えている。

・春日井市の実情として

- ・親子が離れて利用できる児童発達支援事業所がない。
- ・主たる介護者が支援できなくなったときに他の支援方法、仕組みがない。
- ・医療的ケアがある子が保育園の入園を希望しても医療面での体制が整っておらず、保護者の仕事復帰ができない場合がある。
- ・医療的ケア対応のグループホームがない。
- ・医療的ケア児者を受け入れている事業所の運営が、厳しい。

・他市では、医療的ケア児が保育園の入園希望に対応できるように拠点の保育園に看護師を派遣する取り組みを行っている。

今後の活動は、実態調査から地域課題を整理し、さらに実態調査で把握できていない医療的ケア児者をどう把握するか検討していく。